



発行所 隊友会岩見沢支部
編 集 陸上自衛隊岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市栗沢町最上350
T E L (0126) 45-2721

いわみざわ

第25代第12施設群長兼

岩見沢駐屯地司令

やました たくじ

山下 拓路 一等陸佐 着任



この度、第12施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令を拝命した山下1佐です。輝かしい伝統ある精強第12施設群そして岩見沢駐屯地で勤務できることは身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

さて、我が国周辺を取り巻く安全保障環境は、より一層厳しさを増している」と認識しています。特に、国際情勢は、不確実性・複雑性を増大させているとともに、科学技術の進展は、作戦様相を複雑化・高度化させています。また、大規模な自然災害も増加傾向にあります。

このような周辺環境において、我々第12施設群は、各種事態に即動し、必ず任務を達成することが求められています。そのためには、私をはじめとして隊員一人一人がそれぞれの問題を克服して任務達成までの道のりを切り開いていくことが必要であり、私の指揮・統率の基本方針として「みちをひらく」を示しました。これに基づき、第12施設群の部隊・隊員に対しては、「挑戦」、「信頼」の二点を要望しています。一つ目である「挑戦」ですが、あらゆる任務を完遂するためには、初めて遭遇する問題や大きな困難にぶつかっても、失敗を恐れず、積極的に行動し、それを克服することが必要と考えています。したがって部隊・隊員には、与えられた任務・職務を確実に達成し得るよう、執念と行動力をもってこれらの問題等に「挑戦」することを期待しています。二つ目である「信頼」ですが、施設科部隊は、戦闘支援部隊であるとともに災害派遣及び国際平和協力活動等においては、主力となって行動する部隊です。被支援部隊、国民及び派遣先国住民から「信頼」を得るためには、高い施設技術力を保持するとともに、部隊・隊員として健全性を保持することが必要と考えています。したがって、部隊・隊員には、任務・職務遂行にあたり、技術の練磨と創意工夫に努めるとともに、服務にあたっては、強固な団結、厳正な規律及び旺盛な士気を涵養することを期待しています。

次に岩見沢駐屯司令として、駐屯地所在部隊・隊員に対し、「地域とともに」、「融和団結」の二点を要望しています。

一つ目の「地域とともに」ですが、我々自衛隊が任務達成のために日々訓練にまい進できるのも、これまでの地域の皆様のご理解・ご協力の賜物であると認識しています。駐屯地として、これからも地域の一人として信頼され、良好な関係を維持できるよう、地域とともに日々歩んでいきたいと考えています。二つ目の「融和団結」ですが、岩見沢駐屯地には、第12施設群、第101施設直接支援大隊第2直接支援大隊、第345会計隊岩見沢派遣隊、第314基地通信中隊岩見沢派遣隊、北部情報保全隊岩見沢情報保全派遣隊、岩見沢駐屯地業務隊、札幌地方協力本部岩見沢地域事務所・札幌地域援護センター岩見沢分室の部隊等が所在しています。各種事態に即動し、必ず任務を達成するためには、各部隊がそれぞれの機能を発揮し、駐屯地一丸となって行動することが必要であり、駐屯地所在部隊の一体化を期待しています。

最後に、第12施設群長及び岩見沢駐屯地司令として、部隊の先頭に立ち、あるべき姿を追求し、自衛隊の精強化にまい進する所存ですので、皆様のご指導・ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

昭和51年生まれ 長崎県出身 防大43期

<主要部隊歴>

幹部候補生学校	【久留米】
第1施設大隊	【朝霞】
第117教育大隊	【武山】
第105施設器材隊	【南恵庭】
第12施設群第336施設中隊長	【岩見沢】
幹部学校 (CGS)	【目黒】
施設学校	【勝田】
陸上幕僚監部防衛部防衛課	【市ヶ谷】
第1施設大隊長	【朝霞】
陸上幕僚監部指揮通信システム・情報部情報課	【市ヶ谷】
中央業務支援隊付 (防研)	【市ヶ谷】
西部方面総監部装備部	【健軍】
西部方面総監部施設課長	【健軍】
陸上幕僚監部防衛部施設課建設班長	【市ヶ谷】
教育訓練研究本部総合企画部総合企画課	【目黒】
総合企画室総合企画班 総合企画班長	【目黒】
現職務	【岩見沢】

第399施設中隊訓練検閲

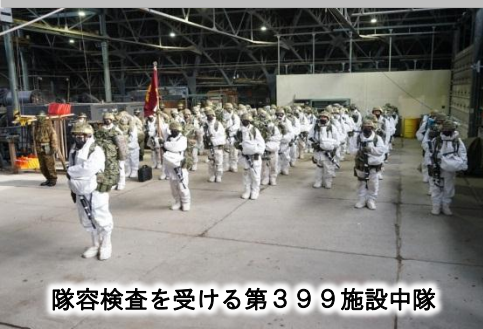
第12施設群（群長・荒閑1佐）は令和5年2月10日（金）から12日（日）までの間、第399施設中隊（中隊長・高橋1尉）に対し「第10即応機動連隊を直接支援する施設中隊の行動」について訓練検閲を実施しました。

検閲開始に当たり検閲官（群長）は「プロとして、被支援部隊の要求を第一義に支援し、任務を遂行せよ。」「中隊『一丸』となり、いかなる困難も克服し、任務達成に邁進せよ。」「基本基礎を徹底し、安全管理に万全を期せよ。」の3点を要望しました。

第399施設中隊は、令和4年度当初からHTCや北演等で第10即応機動連隊との協同訓練を実施しており、本検閲は積み重ねてきた練成訓練成果の集大成の場となりました。中隊長は隊員に「生き残るために考え、行動する。」「勝つ」を要望し訓練検閲に臨みました。

状況開始以降、先行的な関係部隊との綿密な調整に基づき、敵の防御要領の特性をよく分析し、特にドローンを活用して敵位置の早期発見に努め、迅速な火力發揮に連接させるとともに、LTE音声システムを施設斥候に携行させ、中隊長の目として運用する等新たな攻撃支援の形を創造して、第10即応機動連隊の要求に合致した施設支援により任務達成に大きく貢献しました。

第399施設中隊は、今後も最新の敵の戦い方に応じた施設支援について創造し、第12施設群第一線中隊として練度を重ね深化を図っていきます。



隊容検査を受ける第399施設中隊



ガスマスクの装面点検



重機関銃の試射



優秀隊員

田部井3曹
塚脇3曹
山崎3曹
廣部1曹



84mm無反動砲の射撃動作点検



集結地の安全化の様子



講話の様子



講話をする本部管理中隊長

岩見沢駐屯地（司令・荒閑1佐）は令和5年2月15日（水）、岩見沢市立北村中学校において講話を行いました。

例年、北村中学校では2年生を対象に道徳の授業の一環で、「命の大切さを改めて考える授業」として隊員が講話を行っており、今年で11回目となります。

本講話の講師を、第12施設群本部管理中隊長が務め、東日本大震災及び平成30年7月豪雨災害被災地での行方不明者捜索、瓦礫除去、仮設住宅建設予定地域の整地等の活動状況、生活支援の状況及び派遣を通じて体験したエピソード、また、被災者に関わる中で学んだ事を講話しました。

最後に「今も将来も周りの人を大事にしてください。失ってから気付かないで下さい。」と述べ、講話を締め括りました。

生徒たちは終始真剣な眼差しで聞き入り、グループ討議では「生徒達が岩見沢地域で起こりうる災害」、「災害が起こった時、自分たちに何が出来るか」、「命を守るためにできることは何か」を話し合い、各グループそれぞれの議題について発表しました。

今回の講話を通じ、被災地での実体験を伝えることと、災害の脅威を理解し防災意識を高めてもらうとともに、自衛隊の活動に対する理解を得てもらう良い機会となりました。

岩見沢市北村中学校にて講話を実施



IWAMIZAWAドカ雪まつり支援

岩見沢駐屯地（司令・荒関1佐）は令和5年1月30日（月）～2月26日（金）の間、岩見沢駅東市民広場公園において実施された「第33回IWAMIZAWAドカ雪まつり」会場の大型（全長約70m・高さ約10m）・小型（全長約10m・高さ約3m）滑り台を制作しました。

この祭りは今回で33回目を迎え、地域住民にとって身近な岩見沢市の冬の祭りとして定着しており、駐屯地として第3回目から支援を実施しました。

今回の大型滑り台はドカ雪まつりを開催して以来、最大級の大きさで、制作期間中は厳しい寒さと戦いながら約20名の隊員が毎日作業し、時には日中の気温が高くなり雪解けの可能性があることから、夜間作業を実施して、無事に完成させ市へ引き渡しました。

25日（土）、26日（日）の2日間、「第33回IWAMIZAWAドカ雪まつり」が3年ぶりに開催され、雪上車体験試乗支援も実施しました。千人を超える方々が試乗し、「なかなか乗る事がないので貴重な体験をしました。」等のお言葉を頂きました。また、制作した大型滑り台、小型滑り台では子供達から「もう一回やる!」、「楽しい!」と大人気で会場は終始盛り上がりしていました。

本支援を通じて地域の活性化に寄与するとともに、地域住民に対して駐屯地への認知・理解の促進を図っていきます。



大型滑り台製作の様子



夜間作業の様子



開会セレモニーに参加する駐屯地司令



当日、滑り台で遊ぶ様子



雪上車体験試乗



岩見沢駐屯地隊員が献血に協力

岩見沢駐屯地（司令・荒関1佐）は令和5年3月2日（木）、岩見沢駐屯地において北海道赤十字血液センターが実施する献血に協力しました。

駐屯地には、今年度3回目の献血車が来隊し、前日から業務隊衛生科が駐屯地の放送設備を活用して駐屯地隊員に献血の協力を呼びかけたこともあり、当日は多数の隊員が昼休み等の勤務時間外を利用し献血に協力しました。

献血を行った隊員の一人、本部管理中隊・佐々木3曹は「社会貢献の一環として、自分の血液が困っている人のために少しでも役に立てたらと思い、駐屯地に献血車が来る際には必ず献血をしています。微力ながら、この先もずっと献血を続けていきたいと思います。」と話していました。

駐屯地は、今後も継続的に献血に協力していきます。



受付する隊員



本管中・佐々木3曹

令和4年3月10日（金）、岩見沢駐屯地において第24代第12施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令 荒関 大輔 1等陸佐の離任式を第3施設団長 河口 弘幸 陸将補の立ち会いのもと挙行しました。

荒関1佐は、令和2年3月に着任し、2年にわたり透徹した使命感と卓越した統率力により職務を遂行しました。特に第12施設群長として統率方針「即動・任務必成」を掲げ「プロであれ」、「一丸」を要望事項として、熱意と創意をもつて隊務を運営しました。特に、令和4年度第12施設群訓練検閲において被支援部隊の要求に合致した各種施設支援の確かな部隊運用により確実に任務達成するとともに平素から防衛警備に力を入れ防衛現地研修及び関係部隊との綿密な調整により実効性の向上を図り防衛計画を具体化し、かつ07式機動支援橋導入を予期し要員の育成教育を先行的かつ計画的に実施する等第3施設団の任務達成に寄与しました。

また、駐屯地司令としての地元協力団体と更なる連携を図り、信頼される地域社会の一員となるべく市内で開催される各種部外行事を積極的に支援し、地域に根差した駐屯地として信頼感醸成に貢献しました。

荒関1佐は駐屯地全隊員に見送られ、群訓練幹部（香田2尉）の発声による万歳三唱を受け、多くの思い出とともに新任地へ向け駐屯地を後にしました。

第24代第12施設群長兼ねて
岩見沢駐屯地司令
1等陸佐 荒関 大輔
離任



最後に手を振る荒関1佐



荒関1佐最後の挨拶



田中曹長 荒関1佐



団長 荒関1佐

隊 友 会 だ よ り

岩見沢市新年交礼会への参加

比較的好天に恵まれた1月4日(水)の夕、市内のホテルサンプラザにて岩見沢市役所、JAいわみざわ及び商工会議所主催の新年交礼会が行われ、支部は役員とスポンサー(協力者)をもって参加しました。官公庁や商工業団体、文化団体の代表ら約250名の参加者とともに新年の門出を祝いました。

岩見沢駐屯地からは、駐屯地司令、業務隊長、第1科長が参加されており、コロナ禍の影響で限られた時間の中でも新年の挨拶を交わすことができました。

また会の始まりと終了のわずかの間に、商工業団体・文化団体の役員の方とは隊友会(支部)活動の状況について話を交わすことができ、岩見沢市内に住む多くの自衛隊OBは日々精進して地域社会に貢献すべく活動していることにご理解を頂きました。



臨時役員会の開催

支部は2月17日(金)の夕、市内の居酒屋にて臨時役員会を開催しました。本役員会は縮小した参集範囲で行い、各ブロック長以上の意見聴取を主に実施し次年度の会運営の資とするものでした。

会議内容は主に、支部魅力化行事及び会勢拡大等のための施策について検討しました。約2時間にわたる熱心な討議を経て指針となる提言を得ることができました。

本内容は更なる検討を加えながら令和5年度事業に反映することとしております。



隊友の集いの開催

支部は3月4日(土)夕、北村温泉ホテルにて3年振りとなる支部恒例行事「隊友の集い」を開催しました。コロナ禍の不安が残る中であっても隊友18名の参加を得て約4時間にわたり、温泉入浴と懇親会(宴会)を行うことができました。

温泉では、暫くぶりの再会者が多いこともあって入浴中に会話が弾み、上がる時間を忘れてしまう光景が見られました。

後段の2時間の宴会はカラオケ・ビンゴなどの娯楽は省略し、仲間同士の会話と食を楽しむことに重点を置いて行ったところ、各人の自己紹介・近況報告などで話が尽きずあっという間に時間が経過して盛会の内に終了することができました。

その後2次会では9人が赴き、3密防止に留意しながら1次会で叶わなかったカラオケの腕を存分に発揮して平素の生活上のストレス解消にもなりました。



「生きる」を創る。

Aflac

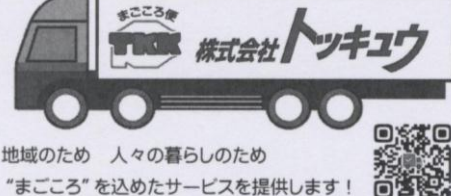
札幌総合支社
支社長補佐
中村 洸



アフラック生命保険株式会社
〒060-0001 札幌市中央区北1条西6-1-2 アーバンコート札幌ビル5F
TEL: 011-221-2641 FAX: 011-233-4445
携帯: 070-7045-5936
E-mail: nakamura_ko1@aflac.co.jp
当社保険に関するお問い合わせ ☎0120-5555-95
ホームページ https://www.aflac.co.jp/

P u b
あ お き

岩見沢市2条西2丁目
☎0126-24-8085



地域のため 人々の暮らしのため
“まごころ”を込めたサービスを提供します！

岩見沢/札幌/苫小牧/東京/関東/仙台/福島/大阪/中部
〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9
TEL 0126-45-2792 / FAX 0126-45-3053



飲み放題 3300円(5名様から)

岩見沢市3条西2丁目NCCビル4F店主 平井
☎0126-(22)-8873



千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉 賢司

岩見沢市東山10丁目6番3号
電話 (0126) 24-4567番



省エネ・節電のスペシャリスト

株式会社 創電

本社/岩見沢市大和2条2丁目17番地
TEL(0126)22-1434(代) FAX(0126)24-9155
札幌営業所/札幌市厚別区厚別西2条2丁目3番14号SDビル3F
TEL(011)895-7755 FAX(011)895-7701
三笠営業所/三笠市いちきり16-8
TEL(0126)73-1141 FAX(0126)73-1186



多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください。☎0126-22-5871

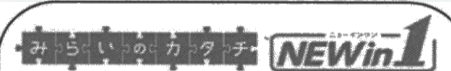
岩見沢市有明町南1番地14
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 北市 宗三

婚礼や宴会は・・・平安閣で



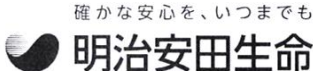
岩見沢 平安閣 岩見沢市5条東2丁目
TEL.0126-23-4581

☎0120-20-1143



札幌支社
岩見沢営業部
能美 征恵
〒068-0004 岩見沢市4条東3-11
Tel.0126-22-4813
防衛省共済組合 岩見沢支部 常駐員
加藤 真奈美
〒068-0822 岩見沢市日の出4丁目313
Tel.0126-22-1001 内線338

日本生命保険相互会社 001-20-044



陸上自衛隊岩見沢駐屯地担当
小林 美香

明治安田生命保険相互会社
札幌支社 岩見沢営業所
〒068-0024 北海道岩見沢市4条西1
TEL:(0126)22-1637 FAX:(0126)22-7340

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局: 岩見沢商工会議所内
支部長: 松浦 淳一
TEL: 0126-22-3445

タクシーのご用命は親切丁寧

T.0126- 25-2121

にご用命ください

日の出交通株式会社

岩見沢市大和2条9丁目19-5

ツイッター



インスタグラム



ホームページ



第398中 鈴木3曹
妻 千尋(ちひろ)さん
R5. 3. 7

結婚おめでとう



2直支中 神田士長
長女 咲葉(えま)さん
R5. 2. 16生

おめでとう



第398中 森3曹
長男 琥太郎(こたろう)くん
R5. 2. 3生



第302坑中 小野3曹
長女 珠莉菜(じゅりな)さん
R5. 1. 22生



こんにちは赤ちゃん

異動

★転出★

【第12施設群】

群本部

1 佐 荒閑 大輔

1 尉 原 亘

2 尉 青沼 憲明

本部管理 増田 ひろみ

曹長 近藤 潤一

3 曹 近藤 潤一

第398施設中隊

2 曹 伊藤 秀春

3 曹 佐藤成ジョセフ

3 曹 高橋 蓉平

第399施設中隊

2 曹 永井 誠

2 曹 田中 信明

3 曹 青柳 遼太

3 曹 齋藤拳太郎

士長 西田 晃樹

第400施設中隊

2 尉 三浦 岳

2 曹 石川 正記

2 曹 金澤 司男

3 曹 伊藤 大史

3 曹 平村 一晋

第302坑道中隊

2 曹 西谷内理大

【第2直接支援中隊】

曹長 佐々木啓雄

2 曹 阿部 亮仁

【岩見沢駐屯地業務隊】

2 尉 渡邊 寛

曹長 辻谷 光徳

1 曹 中川 幸喜

1 曹 三谷 保

2 曹 近藤 晋介

2 曹 渡邊 雄一

【第314基地通信中隊岩見沢派遣隊】

1 曹 塩浦 利紀

1 曹 勝野 孝弘

3 曹 垂水 拓郎

★転入★

【第12施設群】

群本部

1 尉 内城 満博

本部管理 中隊

准尉 沢田 啓之

2 曹 藤原 雅樹

第399施設中隊

2 曹 榎 正人

第400施設中隊

2 曹 梅津 敏之

【第2直接支援中隊】

准尉 斎藤 護

2 曹 山本 斉右

2 曹 中村 元彦

3 曹 石井 拓馬

【岩見沢駐屯地業務隊】

2 尉 伊藤 哲也

1 曹 佐藤 美奈子

2 曹 合坂 直樹

2 曹 金山 豊

2 曹 濱崎 純

2 曹 駿河 祐介

【第314基地通信中隊岩見沢派遣隊】

1 曹 長山 和実

士長 森 彩羽

(304施設・出雲)

(105器・南恵庭)

(施校・勝田)

(9施設・小郡)

(装実・富士)

(101直支大隊・南恵庭・3月20日付)

(101全般支大隊・島松)

(305普直支中・真駒内)

(3直支援中・幌別)

(3施団本・南恵庭)

(北面シ通群・札幌)

(303ダ・南恵庭)

(14施群・上富良野)

(14施群・上富良野)

(北方衛生隊・真駒内)

(314基通・倶知安)

(314基通・真駒内)

(以上、3月13日付)

祝任官

3等陸尉へ

【第12施設群】

長谷川翔也

高木 洗希

(399施中)

(302坑中)

(3月11日付)

定年退官



業務隊
3 佐 森谷 誠治
(2月6日付)



業務隊
1 尉 岡崎 純也
(2月20日付)



第12施設群
第400施設中隊
曹長 中村 好文
(3月1日付)



業務隊
准尉 宮地 和豊
(3月11日付)



第12施設群
群本部
1 尉 中上 聡
(3月13日付)



業務隊
准尉 稲元 耕一
(3月23日付)

永年の勤務お疲れさまでした。